

守谷ボランティア NEWS

2024年7月号(毎月1日発行)



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話: 0297-46-3370 FAX: 0297-46-3320
Email: supportcenter@moriya-cac.org
ホームページURL: <https://moriya-cac.org/>
開館時間: 午前10時~午後6時(午後9時まで延長可)
休館日: 月曜日、年末年始

小学生 お仕事体験 ~市民活動支援センターってどんな所~

この夏休みに、センターの仕事を体験してみませんか。ボランティアって何だろう?見たり、聞いたり、楽しく学びましょう!

※証明書発行します

- 日時 ①8月8日(木)・9日(金)
②8月17日(土)・18日(日)
10:00~16:00(お昼休み1時間)

- 会場 市民活動支援センター
- 持ち物 お弁当、飲み物、タオル
- 対象 小学5・6年生
- 定員 各日2人(2日間) ※超過の場合抽選
- 申込方法 7月17日(水)以降にQRコードから申し込む
- 主催・申込・問合せ先 市民活動支援センター



講演会 神経発達症(発達障害)について

- 日時 8月25日(日) 13:30(13:00開場)
- 会場 守谷市中央公民館(もりりん中央)ホール
- 定員 350人
- 参加費 500円
- 申込方法 申込フォームから申し込む
- 主催 守谷市文化協会「映画・講演の会」
- 問合せ先 ☒ yuan28003@gmail.com(原)



申込フォーム

神経発達症(発達障害)について



講演会
堀 孝文 先生
講演会「神経発達症(発達障害)について」
日時: 8月25日(日) 13:30(13:00開場)
会場: 守谷市中央公民館(もりりん中央)ホール
定員: 350名
参加費: 500円
申込方法: 申込フォームから申し込む
主催: 守谷市文化協会「映画・講演の会」
問合せ先: yuan28003@gmail.com(原)

市民活動支援センター 夏休みボランティア募集

ボランティアに興味のある市民の皆さん、夏休み中に体験したいと考えている学生の皆さん、一緒に活動してみませんか。
※ボランティア証明書を発行します。

詳細はホームページをご覧ください→



①	団体名・内容	⑦	団体名・内容
①	もりサポ塾「夏期講習」大学生ボランティア募集	⑦	もりんくる 子ども食堂の配膳やお話し相手
②	肢体不自由児・医療的ケア児の家族会 そら〜ち 「夏のお楽しみ会」のサポート	⑧	ボランティアチーム GHO ゴミ拾い
③	守谷駅前クリーンズ 守谷駅周辺のゴミ拾い	⑨	ほっとカモン「もりやっ子食堂」のお手伝い
④	立沢里山の会「田んぼ学校」田んぼのメンテナンス	⑩	守谷稲門会「もりや寺子屋」のお手伝い
⑤	大柏里山の会 通学路の除草	⑪	傾聴ボランティア楽ハート セミナーの受付等
⑥	傾聴ボランティア・ジャズミン 傾聴を体験しよう	⑫	市民活動支援センター 「こども新聞」の展示と撤去作業

登録団体活動情報 7月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合せ先
手話サークルふれあい 手話の学習・交流	中央図書館・中央公民館	毎週金曜日 10:00~12:00	川畑 090-6500-0266
守谷駅前クリーンズ 守谷駅前ゴミ拾い	守谷駅西口広場(階段下集合)	第3(日) 8:00~9:00	会田 090-3335-7227 ☒ aida104302@yahoo.co.jp
フォトクラブ写遊 写真展、撮影会の開催	北守谷公民館(5~9月) 中央公民館(10月以降)	第4(土) 9:00~16:00	金澤 080-5508-6081

助成金情報 *内容は変更になる場合があります。各HPをご確認ください。

地域活動 まちづくり	~7/24 令和6年度はんどちゃんネットワーク運動サロン(居場所)活動応援助成金 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会 https://www.ibaraki-welfare.or.jp/
地域活動 まちづくり	~7/31 2024年度くらし活動助成基金 生活協同組合パルシステム茨城 栃木 https://www.palsystem-ibaraki.coop/
地域活動・ まちづくり	~7/31 Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs 令和6年度あしたのまち・くらしづくり活動賞 パナソニックホールディングス株式会社 https://holdings.panasonic.jp/corporate/sustainability/citizenship.html

豆コラ

葉っぱには、抗菌・殺菌効果があります。人は昔からこの成分を利用して葉で食物を包む習慣がありました。これは、葉が持つ自然の抗菌・殺菌効果を活用するためです。冷蔵庫がない時代でも、腐りやすい食べ物や葉っぱに包んで保存や、持ち運ぶことができたわけです。笹団子は、戦国武将の上杉謙信が戦の時に持って行く保存食として考えられたという説もあります。このように全国には、葉っぱで包んだ食べ物がたくさんあります。埼玉県の「つつこ」、奈良県の「柿の葉寿司」、滋賀県の「でっち羊羹」、岐阜県の「朴歯寿司」など。伝統的な知恵です。先人の残してくれた生活の知恵、生き方、日本の素晴らしさを次世代に伝え繋いでいくことがとても大切なことではないでしょうか。

センターイベント第1弾！

葉っぱの不思議な力 ～桜もち・柏もちをつくろう！～

脳トレクッキング保健センター×支援センター

2024年5月26日(日)@保健センター

昔の人は植物をうまく利用しながら暮らしてきました。なぜ食べ物を葉っぱでくるむのか？葉っぱの効用や科学的・文化意味を学習。それをふまえて桜もち・柏もちの調理実習といったコラボ企画を実施しました。

【葉っぱの不思議な力の講座】

講師はセンター長。

まずはアイスブレイク。「多羅葉(たらよう)」の葉を使い、自己紹介をしました。

タラヨウの葉は「葉書(はがき)」の語源であり、爪楊枝などを使って葉っぱに文字を書くと浮き出てきます。講座内で使うため探しましたが市内では見つからず、坂東市の妙音寺さんまで行き調達。

こどもたちの反応も良く、盛り上がり緊張がほぐれたようです。



葉には抗菌・殺菌効果があること。それを昔から生活の知恵として活用していたことなどを学びました。

【桜もち・柏もち作り】



講師は脳トレクッキング保健センターの皆さん。もちを平らにするために枡を使ったのは脳トレさんの提案です。

食べきれなかった桜もちと柏もちが竹の皮に包んで持ち帰りました。指導するため3回りハースルをして工程などを確認。他にも竹の皮や柏の葉を取りに行きって使えるように加工するという徹底ぶり。



【こどもたちの様子】



全体重をかけるために台に乗って枡でもちを平らに。



蒸しあがった葉っぱの色の变化にビックリ！



桜もちの材料は分量を量り、食紅を入れて混ぜ混ぜ。



クレープを焼くように薄く広げてます。焼きあがった皮にあんこを入れて巻き巻き！

ブレーカーが落ちてしまうといったアクシデントがあって時間が少し押ししてしまいましたが小学生たちは大満足の様子。「おかあさんが桜もち大好きだから持って帰るんだー♪」と喋ってスキップして帰る姿が可愛かったです。

こどもたちが帰った後、調理室に残っていた脳トレさんにアンケートを見てもらいました。「疲れた～でもこどもたちから元気をもらえて楽しかった。」「先生って呼ばれちゃったわ～♪」と有意義な時間を過ごされたようです。



今回の講座もすぐに定員いっぱいになりました。多世代交流ができ、こどもたちもいつもと違う先生や違う小学校のお友達と一緒に勉強ができて新鮮だったことでしょう。脳トレクッキングさんには来年度もご協力いただきたいです。